

おめでとう

春の選抜高等学校野球大会

市立船橋 高等学校

甲子園初出場



秋の千葉県大会で初優勝を飾った市船ナイン



PHOTO ふなばし



市船ナイン 甲子園出場万歳

船橋市議会議長
林 利嗣

市立船高野球部、甲子園出場の快挙おめでとう。折しも船橋市制50周年記念を飾るにふさわしいビッグな市民へのプレゼント。

船橋の学校が甲子園に登場できる日を、半ば諦めながらも淡い期待を抱いていた私達に、この度の朗報は大きな感動を与えてくれました。そして、市船開校30周年に錦上添花を添えてくれました。

野球部関係者の平素のご精進に、市議会を代表して心から敬意を表し、賞讃申し上げます。野球王国千葉県、そしてレベルの高い関東大会を勝ち抜いての出場だけに、校長先生はじめ在校生、同窓生、関係者の皆様のお喜びもひとしおとご推察申し上げます。

スポーツ健康都市船橋の名を全国に広める最高の舞台は整いました。駅伝、サッカーに続け、市船ナイン。

3月に開幕される本番に向けて更に心身を鍛え、千葉県の代表として、正々堂々高校生にふさわしいプレーを展開して下さい。そして初出場のプレッシャーを払いのけ市船魂を発揮して、先輩伝統校に伍して健闘されることを期待しております。

マンモス球場甲子園に市船旋風を起こせ。市立船橋、春の選抜甲子園出場万歳。

全国の高校球児たちの夢であり、あこがれ夢の甲子園出場を現実のものにしました。第兵庫西宮市の阪神甲子園球場に、全国から関監督率いる市立船橋高校は、この初出場の野球で、あのマンモススタンドに市船旋風をの大優勝旗を目指し、“野球王国・千葉”にふ

の“甲子園出場”。市立船橋高校がついにこの60回選抜高校野球大会は3月26日(土)から10日間34校の代表を集め、その熱戦が展開されます。栄冠を胸に、粘りの野球、機動力のある全員巻き起こさんと闘志を燃やしています。紫紺さわしい大いなる活躍が期待されます。



がんばれ ICHIFUNA!!

健闘を誓う三澤正史部長(中央)、関茂監督(右)、加瀬弘明コーチ(左)、小林徹コーチ、そして51人の選手たち。

市立船橋高校

春の選抜高等学校野球大会

甲子園初出場

おめでとう

関東代表



巻き起こせ
「市船旋風」

船橋市長
大橋和夫

市立船橋高校、第60回選抜高等学校野球大会初出場おめでとうございませう。52万市民を代表し、心からお祝い申し上げます。

船橋市は、昨年市制50周年を迎え、今年第二の新しい発展期のスタートの年でもあります。甲子園初出場はこの輝かしい年にふさわしい、誠に素晴らしい快挙であります。千葉県は、全国有数の野球王国として広く知られるところであり、この激戦区をよく勝ち抜いて代表の栄誉を勝ち得てくれました。

船橋市は、昭和58年10月に「スポーツ健康都市」を宣言し、市民が明るく健康で生きがいのある街づくりを推進させておりますが、この延長線上にある市立船橋高校の最近の全国大会でのすばらしい活躍ぶりは誠に目を見張るものがあります。これもひとえに学校関係者、市議会の皆様、そして52万市民の皆様のご努力、ご声援の賜と深く感謝いたしております。

選手の皆様、甲子園での戦いでは強豪がひしめいています。しかし、恐れることなく、普段の実力を充分出し切れば、必ず好結果が生まれることでしょう。そしてあのマンモススタンドに「市船旋風」を巻き起こして、全国の野球ファンを驚かせて下さい。52万市民の皆様共々、ご活躍を期待しております。



甲子園で
校歌を!

野球部監督
関 茂

今回、第60回選抜高等学校野球大会に出場できることになり、念願の「甲子園」出場がかないました。これもひとえに皆様のご支援ご声援の賜と深く感謝いたしております。

簡単に昨秋の戦況を報告しますと、関東大会準決勝で桐蔭学園に敗れるまでの10試合は薄氷を踏む思いでした。10試合中、6試合が1点差の試合でした。接戦の中で、選手は一戦一戦勝ち抜き事により、強く逞しくなってきました。県の決勝戦などは、主戦投手と捕手を故障で欠く状態で試合を行ないましたが、全員一丸となり、チームワークで勝利をものにしました。結果的には8対2というスコアで、10試合の中で最も安定した勝ち方でした。

昨秋の目標は、県を制覇すること、関東大会で2つ勝つ事でした。一応の目標を達成でき、今回の朗報を聞くこととなりました。今年の選手は大型で潜在能力を秘めた者が多く、この冬でさらに強く逞しく育っています。

「甲子園で校歌を歌うこと」を目標に、現在頑張っています。船橋市民の期待と応援を背に、選手は大きな声で校歌を歌ってくれるものと確信しております。



関東大会1回戦で銚田一高に延長10回サヨナラ勝ちし応援団の祝福を受ける市船ナイン。(水戸市民球場)



スタンドから熱心に声援を送る市船ナインの父兄の皆さん。



県大会準決勝対君津商業戦で8回表、菅野選手のホームランにわく市船応援席。



銚田一高戦延長10回裏2死満塁で桑野選手の中前打。3塁走者、小山田選手がサヨナラのホームイン。



球威、制球力抜群のエース立石投手の力投。

ナインに指示を送る伏島主将。遠投110メートルの強肩を誇る捕手だ。



いつも明るい市船ナイン。

全員一丸となった チームワークで勝つ ことができました。

千葉県大会・関東大会



関東大会準々決勝で宇都宮工高(栃木)に2-0で快勝し、ベスト4入りが決定。関東大会出場2度目での快挙だった。(茨城県営球場)



県大会決勝対市立銚子戦で伏島主将は負傷しながらも代打でタイムリーを放つ。



勝負どころをむかえ監督の指示を受ける市船ナイン。



熱い声援をおくる市船応援席。(千葉県営球場)



市営球場で練習するナイン。

「春のセンバツ、決定！」市立船橋高校が、ついに船橋市で初めて念願の甲子園へ出場します。2月1日、第60回選抜高等学校野球大会選考委員会が大阪市で開催され、関東地区代表に、市立船橋高校(平井孝一校長)がその実力と品位を評価され、正式に選出されました。

春の選抜への第一関門である、秋の高校野球県大会ブロック予選は昨年9月に開催されました。関茂監督率いる市立船橋は、春の選抜出場をにらんだ選手編成を組み、球威、制球力ともに抜群のエース立石投手が2試合連続完封を果し、難なく千葉県大会へ進みました。

つづく千葉県大会(ブロック代表32校出場)では1回戦野田北高校を4-3で下し、2回戦の安房高校は5-1、準々決勝の成田高校を3-2、そして準決勝の君津商業を7-6で下すという、1点を争う接戦につぐ接戦。市立船橋独自の「粘り」野球を展開し、決勝戦へ駒を進めました。そして県大会決勝戦の対市立銚子戦では、4番の伏島捕手とエース立石投手を故障で欠いたものの、1回途中から救援した大野投手が、伸びのある速球を武器に、散発5安打に押える好投。打線も機動力と小技の「総合力」で長短10安打の猛攻で8-2と快勝し、「野球王国」千葉県で見事初優勝を飾りました。

春の選抜最後の関門、関東大会。1回戦の銚田一高(茨城)戦では、息づまる投手戦を展開。延長10回1-0でサヨナラ勝ちし、ここでも「粘り」の野球を見せました。準々決勝の対宇都宮工高(栃木)戦では、市立船橋は5安打ながら少ないチャンスを確実に点に結びつけ、2-0で快勝。ベスト4に進出しました。

エース立石投手は1回戦につづく2試合連続完封勝利。連続19イニング無失点の快投を演じました。

準決勝の対桐蔭学園高校(神奈川)戦では、市立船橋は先取点をあげたものの、主戦立石投手が連戦による肩の不調から降板。リードを守りきれず逆転を許し、惜しくも2-4で敗れました。敗れはしたものの、市立船橋は粘り強い野球を見せ、関東大会出場2度目にして堂々のベスト4入りを果たしたのでした。

市立船橋高校野球部は、学校創立の翌昭和33年の創部ですが、大会で上位に進出するようになったのはここ数年のこと。昭和58年10月に大橋和夫市長は「スポーツを通じて街も人も健康でありたい」と「スポーツ健康都市」を宣言。様々な施策を実施し、スポーツ人口のすそ野を広げました。そして市立船橋高校にその延長線として「体育科」を新設し、多くの良き指導者による科学的なトレーニングを積み重ね、今日では様々な分野で活躍する優秀な選手を世に送り出しています。

4年前から野球部を指導している関監督は、「選手は荒けずだが、体も大型になりパワーもついた。非常に潜在能力を秘めた選手が多く、甲子園でも活躍してくれそうです。全員野球で頑張ります」とその抱負を語り、また、甲子園出場経験のある、小林徹、加瀬弘明両コーチは「今度の大会は激戦になると思います。練習にも気合いが入っているのが楽しみです。」とその手応えを語ってくれました。がんばれ市船、めざせ日本一!!



赤堀 大内野手(2年) 167cm・74kg(美浜中) 右投右打
はやく大会がはじまってほしい。甲子園は小さい頃からの夢だったので、甲子園で思う存分打ちます。優勝は特に意識していませんが、頑張るだけです。

山田 兼外野手(2年) 181cm・80kg(東国分中) 右投右打
甲子園でプレイできるなんてすばらしい。練習はつらいけど、このつらい練習があってこそ、今の僕たちがあると思います。優勝する自信はあります。

富田武広 外野手(2年) 170cm・64kg(法田中) 左投左打
甲子園出場が決まって、本当にうれしい。甲子園という目標に向かって、みんながひとつになり、猛練習をし、そして勝つこと、これだけです。まず、1勝です。

小山田 義光 内野手(2年) 176cm・64kg(法田中) 右投右打
とてもうれしいです。みんなで力を合わせ、全力を尽くします。1回戦突破が今の目標です。あこがれの甲子園で、悔いの残らない試合をしたい。

福井 健治 捕手(2年) 173cm・67kg(法田中) 右投右打
自分にとって甲子園とは夢みたいなものだったのでその夢が現実になりとてもうれしい。優勝の自信はあるけど、まずは1勝したい。チャンスに多く打ちたい。



桑野剛三 塁手(2年) 180cm・80kg(志津中) 右投右打
甲子園で10割打つのが目標です。ホームランを打った時の快感、あの快感をあこがれの甲子園で味わいたいです。3本くらいはホームランを打ちたいですね。

青柳隆照 二塁手(2年) 179cm・67kg(花見川一中) 右投左打
優勝の自信はあります。毎日の練習はつらいけど、甲子園に行けると思うと、うれしい。甲子園は、僕ら野球をやっている者にとって一度行きたかった所です。

金田智浩 一塁手(2年) 179cm・88kg(市川七中) 右投右打
中学校の時、甲子園に行って、いつか自分も行きたいと思っていた。実現できてうれしい。1戦ごとに実力と自信をつけて、ぜひ優勝したい。5割は打ちたい。

伏島良平 捕手(2年) 180cm・75kg(船橋中) 右投右打
自分はキャプテンとして、甲子園では仲間が練習とおりの力を発揮できるようムードづくりをしたい。攻撃でも守りでも1点を大事にして集中してプレーしたい。

立石尚行 投手(2年) 176cm・73kg(習志野四中) 右投右打
早く甲子園のマウンドに立って投げたい。どんなバッターでもどんと来い。まずは、1勝が目標です。夢の甲子園で、思う存分打って来ます。ガンバルゾ!



選手一人ひとりに細かくアドバイスをしておく小林徹コーチ。



いろいろな場面を想定して実践さながらの猛練習がくりかえされる。



足腰を鍛えるには階段の上り下りが一番いいそうだ。校庭近くの陸橋で。



春にしっかりした基本練習を積みかどうかでその選手が大成するかが決まるといわれる。



合宿では一日千本のティーバツ作りには欠かせない練習だ。



コンビネーションマシンで科学的に筋力アップ。



ウエイトトレーニングは1日おきに行われる。野球選手に必要な筋肉作りが大切だ。



冷たい校庭での苦しい練習も今は苦になりませんとナインたち。



走ることが野球選手の基本。夏の大会のスタミナはこの時期につくられる。(市営球場で)



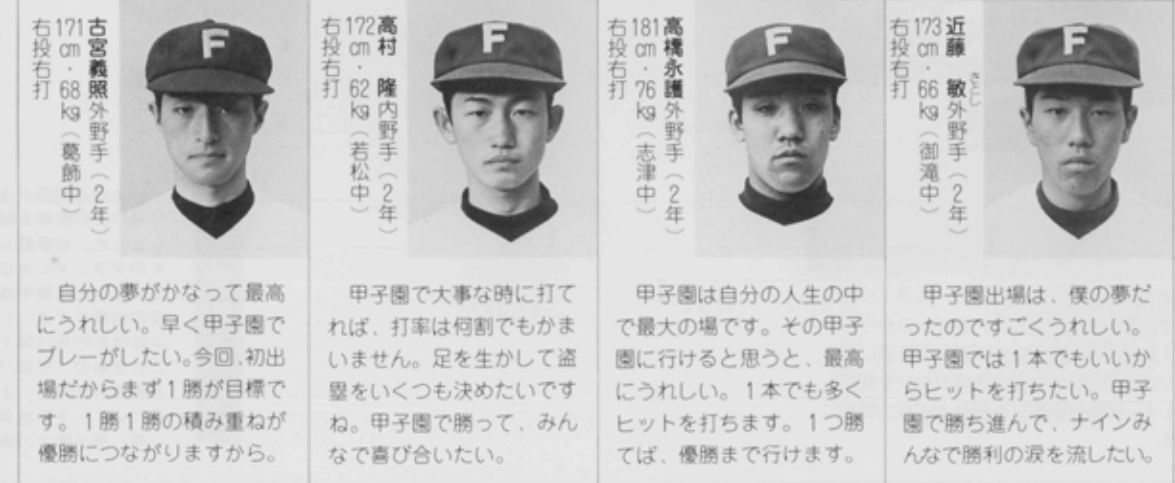
1月15日から17日までは学校と市営球場を使用して合宿が行われた。学校の食堂で楽しい夕食のひとつ。



加瀬弘明コーチのノックによる内野の守備練習。練習は毎日夜8時頃まで行われる。

甲子園出場についてのお問合せ、ご協力は市立船橋高校または教育委員会保健体育課へご連絡ください。

市立船橋高校 0474-29129
保健体育課 0474-2873



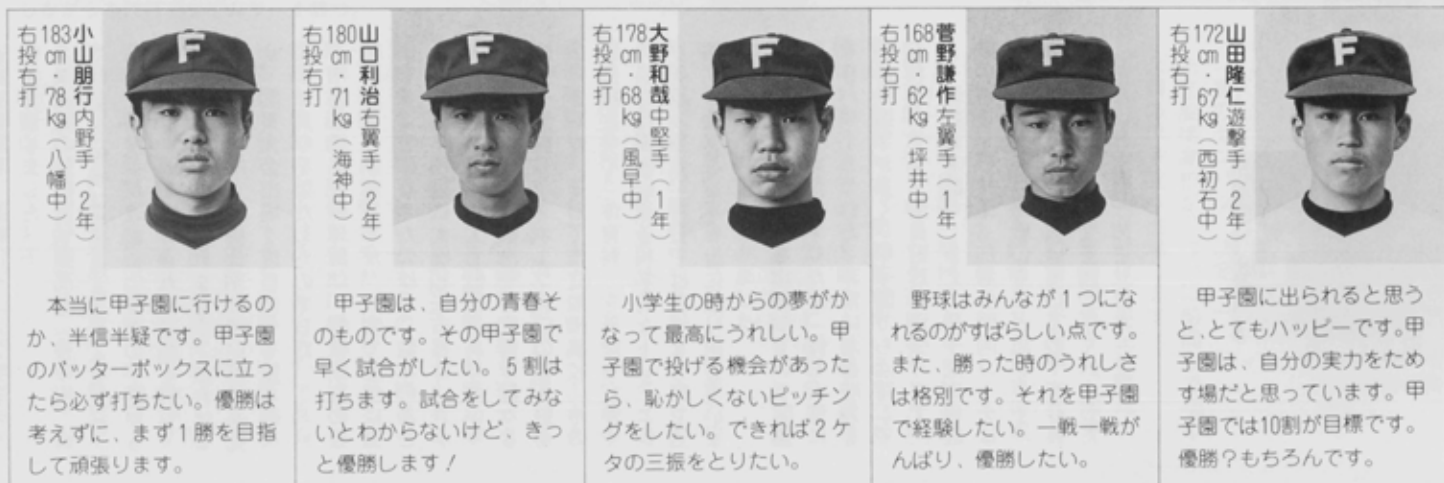
古宮 義照 外野手(2年) 171cm・68kg(葵節中) 右投右打
自分の夢がかなって最高にうれしい。早く甲子園でプレーがしたい。今回、初出場だからまず1勝が目標です。1勝1勝の積み重ねが優勝につながりますから。

高村 隆内野手(2年) 172cm・62kg(若松中) 右投右打
甲子園で大事な時に打てれば、打率は何割でもかまいません。足を生かして盗塁をいくつも決めたいですね。甲子園で勝って、みんなで喜び合いたい。

高橋 永護 外野手(2年) 181cm・76kg(志津中) 右投右打
甲子園は自分の人生の中で最大の場です。その甲子園に行けると思うと、最高にうれしい。1本でも多くヒットを打ちます。1つ勝てば、優勝まで行けます。

近藤 敏 外野手(2年) 173cm・66kg(御滝中) 右投右打
甲子園出場は、僕の夢だったのでごくうれしい。甲子園では1本でもいいからヒットを打ちたい。甲子園で勝ち進んで、ナインみんなで勝利の涙を流したい。

小山 朋行 内野手(2年) 183cm・78kg(八幡中) 右投右打
本当に甲子園に行けるのが、半信半疑です。甲子園のバッターボックスに立ったら必ず打ちたい。優勝は考えずに、まず1勝を目指して頑張ります。



山口 利治 右翼手(2年) 180cm・71kg(海神中) 右投右打
甲子園は、自分の青春そのものです。その甲子園で早く試合がしたい。5割は打ちます。試合をしてみないとわからないけど、きっと優勝します!

大野 和哉 中堅手(1年) 178cm・68kg(風早中) 右投右打
小学生の時から夢がかなって最高にうれしい。甲子園で打てる機会があったら、恥かしくないピッチングをしたい。できれば2ケタの三振をとりたい。

菅野 謙作 左翼手(1年) 168cm・62kg(坪井中) 右投右打
野球はみんなが1つになれるのがすばらしい点です。また、勝った時のうれしさは格別です。それを甲子園で経験したい。一戦一戦がんばり、優勝したい。

山田 隆仁 遊撃手(2年) 172cm・67kg(西初石中) 右投右打
甲子園に出られると思うと、とてもハッピーです。甲子園は、自分の実力をためず場だと思っています。甲子園では10割が目標です。優勝?もちろんです。

いま猛練習中です。
ご声援よろしくお願ひします。

がんばるゾ!



いつも明るく元気の良い生徒たち——市立船橋高校（平井孝一校長）は昭和32年に創立された男女共学の公立校。生徒数は1,410人で普通科、商業科、体育科の3コースがある。普通科は船橋市、商業科と体育科は千葉県内が学区となっている。闊達明朗、誠実奉仕、刻苦研学を校訓に、生徒たちの無限の可能性の開花を目指している。

スポーツで健康ふなばし こんにちは…



船橋市は昭和58年10月10日に「スポーツ健康都市宣言」を行いました。チビッコからお年寄りまで、市民みんながスポーツを通じて、明るく健康で生きがいのある街づくりを進めています。写真は宣言文を読み上げる大橋和夫市長。

編集だより

いよいよ船橋から初の甲子園出場が決まりました。今号はこの快挙を記念し、記念特集号として編集いたしました。日夜厳しい練習に励む市船ナインの姿を、そのグラウンドにおじゃまし取材させていただきました。それにしても選手達の明るいこと。「これがウチの学校の特長ですよ」と聞監督がおっしゃるとおり、ナインは学年の分け隔てなく仲が良く、笑顔がたえない。これがあの「市船パワー」の源なのかもしれない。なお練習の合間に、そんな19人の選手たちに甲子園出場について、その抱負を語っていただきました。編集部一同、甲子園での素晴らしい活躍を期待しています。